



主要な農作物の生育情報

平成28年度 第5号

(平成28年8月5日)

福島県農林水産部農業振興課



【作物】

1 水稲

農業総合センターの生育調査では、出穂期が平年並となっています(表1)。生育量(草丈、茎数)も概ね平年並の状況です。

表1 水稲の生育状況

調査場所(※1)	品 種	移植期 (月.日)	出穂状況(※2)	
			出穂始期 (月.日)	出穂期 (月.日)
農業総合センター本部	コシヒカリ	5. 2	(8.06)	(8.08)
	天のつぶ	5. 2	7.31 (7.31)	8.02 (8.02)
	ひとめぼれ	5. 2	7.30 (7.29)	8.01 (8.01)
	コシヒカリ	5.16	(8.10)	(8.12)
	天のつぶ	5.16	(8.04)	(8.06)
	ひとめぼれ	5.16	8.04 (8.02)	8.05 (8.04)
浜地域研究所	コシヒカリ	5.10	(8.04)	(8.07)
	ひとめぼれ	5.10	7.29 (7.30)	8.01 (8.02)
会津地域研究所	コシヒカリ	5.20	(8.08)	(8.09)
	ひとめぼれ	5.20	7.30 (7.30)	8.01 (8.01)

※1 調査場所：農業総合センター本部(郡山市)、浜地域研究所(相馬市)、会津地域研究所(会津坂下町)

※2 出穂状況の空欄は、現時点で未確定である。()内は、前5ヶ年の平均。

2 大豆

農業総合センターの生育調査では、開花期が農業総合センター本部(郡山市)で平年より4日遅く、浜地域研究所(相馬市)と会津地域研究所(会津坂下町)で平年並となっています。

生育量(地上部乾物重)は、農業総合センター本部が平年より少なく、浜地域研究所(相馬市)と会津地域研究所(会津坂下町)が平年並から多い状況です。

【野菜】

1 夏秋きゅうり

収穫は、生育の早いほ場で平年並の6月中旬から始まりましたが、梅雨に入り低温の影響で、一時果実肥大に時間を要しました。現在は気温の上昇により積極的にかん水が行なわれ、草勢維持が図られています。

病害虫は、灰色かび病、炭そ病が発生しており、一部ほ場では土壌病害が見られます。

2 夏秋トマト

収穫は、中通り地方で平年よりやや早く5月下旬頃から、会津地方では平年並の7月上旬頃から始まりました。現在は高温のため、一部ほ場で萎れ、芯やけ、落花、日焼け果が見られますが、かん水や遮光等により草勢は概ね維持されています。

病害虫は、灰色かび病、コナジラミ類が発生しており、一部ほ場では土壌病害が見られます。

3 ピーマン

夏秋栽培は、平年並の7月上中旬から出荷が始まりました。現在、かん水が不足しているほ場では尻腐果が発生していますが、今後は収穫量の増加が見込まれています。

病害虫は、オオタバコガや炭そ病が発生しています。

4 さやいんげん

4月下旬播種の作型は、収穫ピークを過ぎましたが、6月から7月播種の作型はツルの伸張中で開花から収穫期を迎えています。

病害虫は、タバコガ、フキノメイガが発生しています。

【果 樹】（8月1日現在：農業総合センター果樹研究所）

1 も も

果実肥大の暦日比較では、「ゆうぞら」は縦径121%、側径127%と平年より大きく、満開後日数による比較でも、平年より大きい状況です。

2 な し

果実肥大の暦日比較では、「幸水」は縦径116%、横径118%と平年より大きく、「豊水」は縦径118%、横径123%と平年より大きい状況です。満開後日数による比較でも、両品種ともに平年より大きい状況です。

「幸水」の収穫予測は、果樹研究所における平均気温と降水量をもとにしたDVR予測プログラムによると、収穫盛期が平年より7日早い8月24日と予想されます。

3 りんご

果実肥大の暦日比較では、「つがる」は縦径103%、横径107%で平年よりやや大きく、「ふじ」は縦径109%、横径114%と平年より大きい状況です。また、満開後日数による比較では、「つがる」が平年並で、「ふじ」が平年より大きい状況です。

【花 き】

1 小ギク

8月咲きは、8月第1半旬が出荷盛期で8月盆の需要期にあった出荷となりました。

9月咲きの生育は、平年並です。

病害虫の発生は、少ない状況です。

2 りんどう

8月盆咲きは、融雪が早かったことから開花が平年より10日程度早く、7月6半旬に出荷盛期となりました。

9月咲きの生育は、平年並です。

病害虫の発生は、少ない状況です。

【飼料作物】

1 牧草

7月中旬から、2番草の収穫作業が行われています。収量・品質ともに平年並となる見込みです。

2 飼料用とうもろこし

順調に生育が進み、収穫期・収量ともに平年並となる見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応してください。

☆ 農作業事故を防止しましょう！

暑い日が続きますので、熱中症対策をしっかりと行い、
体調管理に十分留意し、農業機械の操作にも注意しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujyohou>